

県内初「恋人の聖地」

カップルでの訪問を誘う「恋人の聖地」に、阿蘇山上の西巖殿寺奥之院が選ばれた。認定は九州で七カ所目、県内では初めて。

「恋人の聖地」はNPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）が少子化対策を目的にカップルを応援しよ



「恋人の聖地」に選ばれた阿蘇山上の西巖殿寺奥之院。阿蘇市

縁結びの山「思いはせて」

NPOが認定 阿蘇・西巖殿寺奥之院

うと認定。二〇〇六年から縁結びに絡むスポットを選んでいる。

西巖殿寺は、かつて修験道の拠点として栄えた天台宗の寺院。本堂はふもとの阿蘇市黒川に移り、山上には奥之院が残る。

同寺によると、奥之院から火口に上る登山道はかつて火口詣でに利用されたが、心の汚れた者には、裏手の溶岩の橋が大蛇に見えて渡れないという言い伝えがある。火口詣では心の清らかさの証しでもあり、縁結びの山としても認知されていたという。

驚岡嶺照住職（三）がこの伝承を現代に生かそうと昨年十二月に申請し、一月一日付で認定された。

「昔の登山道は、今は閉鎖されているが、昔の人たちの信仰などに思いをはせてもらえれば」と驚岡住職。連休前に銘板を取り付け、「縁結び」に絡んだ取り組みも行っていくという。